

## 平成29年度事業計画について

### 〈基本方針〉

農業・農村は、県民の生存に不可欠な食料を生産するという重要な役割を担っているだけでなく、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成などの公益的機能の発揮を通じて、私たちの暮らしに重要な役割を果たしている。しかしながら、本県の農業は、担い手の減少や高齢化が進むとともに、それに伴い耕作放棄地の拡大が懸念されるなど厳しい状況に直面している。

他方、食の安全・安心はもとより、北陸新幹線金沢開業効果の継続により地元産品を求める消費者ニーズがますます高まりを見せているほか、農業法人の増加や経営の多角化などから、就業の場としての農業への関心がこれまでになく高まっている状況にある。

こうした情勢の中で、（公財）いしかわ農業総合支援機構では、引き続きプロの農業者から農業の応援団まで幅広い農業人材の確保・育成に向け、関係機関・団体と連携・協働しながら、

- ① 農業・農村が有する資源・特徴の活用や、農商工連携による新商品開発・販路拡大
- ② 6次産業化による農業・農村の雇用と所得を増大するための人材の確保・育成
- ③ さらには、コマツ、トヨタなど他産業のノウハウ・技術を積極的に取り入れた収益力向上に向けた低コスト技術の実証・普及などに取り組むとともに、
- ④ 「人材」「土地」「経営」の視点を踏まえ、農業参入に対する戦略的かつ総合的な対策を通じて、農地の再生と農業の成長産業化を目指し、次の事業に重点的に取り組むものとする。

## 【平成29年度事業計画】

### 公益目的事業1

#### 農村資源に関する相談、情報提供を行う事業

9,800千円

(1) 農業に関して、ワンストップで相談対応できる総合窓口の設置	相談件数：221件
(2) 農業人材育成の取組・支援体制等について情報発信（ホームページ、求人サイトなど）	
(3) 農地、住居、移住者等の情報収集・リスト化と関係機関での情報共有	
(4) 首都圏、関西圏での新農業人フェア、移住セミナー等での移住相談の実施	新農業人フェア：3回 移住セミナー：19回
(5) ハローワークでの就農相談会、農林漁業就業合同面談会を通じた求人・求職者のマッチング	ハローワーク：5回 合同面談会：1回

### 公益目的事業2

#### 農業に関する幅広い人材を育成・確保するための事業

174,177千円

(1) いしかわ耕稼塾によるプロ農業者から農業のサポーターまでの幅広い人材の育成																			
<table border="1"> <tr> <td>【農業者向け】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来、地域リーダーとして活躍が期待される若手農業者の経営・販売力向上を図る「経営革新スキルアップコース」</td> <td>11人×16回</td> </tr> <tr> <td>大規模経営の運営に必要な高度なマネジメント手法を習得する「経営発展マネジメントコース」</td> <td>9人×10回</td> </tr> <tr> <td>農商工連携等による農業の6次産業化に向けた農業者の経営、流通・販売等の能力向上を図る「6次産業化初級・トライアル研修」</td> <td>13人×12回</td> </tr> <tr> <td>女性の視点や能力を活かした情報発信、起業化手法を学ぶ「女性農業者活躍セミナー」</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>雇用経営に必要な労務管理や就業規則、人材育成の方法を習得する「企画管理力向上セミナー」</td> <td>17人×7回</td> </tr> <tr> <td>耕稼塾専科・本科修了生等が、流通のプロや篤農家から市場ニーズにあった野菜生産・出荷を学ぶ「需要対応型野菜づくり研修」</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>コマツ等のノウハウ・技術を活用した収益向上プロジェクトや生産管理手法等を学ぶ「他産業連携による革新技術習得研修」</td> <td>8人×3回</td> </tr> <tr> <td>農業法人等に雇用された農業教育を受けていない者が、農業法人等で働きながら農業に必要な基礎知識を</td> <td></td> </tr> </table>	【農業者向け】		将来、地域リーダーとして活躍が期待される若手農業者の経営・販売力向上を図る「経営革新スキルアップコース」	11人×16回	大規模経営の運営に必要な高度なマネジメント手法を習得する「経営発展マネジメントコース」	9人×10回	農商工連携等による農業の6次産業化に向けた農業者の経営、流通・販売等の能力向上を図る「6次産業化初級・トライアル研修」	13人×12回	女性の視点や能力を活かした情報発信、起業化手法を学ぶ「女性農業者活躍セミナー」	20人	雇用経営に必要な労務管理や就業規則、人材育成の方法を習得する「企画管理力向上セミナー」	17人×7回	耕稼塾専科・本科修了生等が、流通のプロや篤農家から市場ニーズにあった野菜生産・出荷を学ぶ「需要対応型野菜づくり研修」	50人	コマツ等のノウハウ・技術を活用した収益向上プロジェクトや生産管理手法等を学ぶ「他産業連携による革新技術習得研修」	8人×3回	農業法人等に雇用された農業教育を受けていない者が、農業法人等で働きながら農業に必要な基礎知識を		
【農業者向け】																			
将来、地域リーダーとして活躍が期待される若手農業者の経営・販売力向上を図る「経営革新スキルアップコース」	11人×16回																		
大規模経営の運営に必要な高度なマネジメント手法を習得する「経営発展マネジメントコース」	9人×10回																		
農商工連携等による農業の6次産業化に向けた農業者の経営、流通・販売等の能力向上を図る「6次産業化初級・トライアル研修」	13人×12回																		
女性の視点や能力を活かした情報発信、起業化手法を学ぶ「女性農業者活躍セミナー」	20人																		
雇用経営に必要な労務管理や就業規則、人材育成の方法を習得する「企画管理力向上セミナー」	17人×7回																		
耕稼塾専科・本科修了生等が、流通のプロや篤農家から市場ニーズにあった野菜生産・出荷を学ぶ「需要対応型野菜づくり研修」	50人																		
コマツ等のノウハウ・技術を活用した収益向上プロジェクトや生産管理手法等を学ぶ「他産業連携による革新技術習得研修」	8人×3回																		
農業法人等に雇用された農業教育を受けていない者が、農業法人等で働きながら農業に必要な基礎知識を																			

	習得する「実践科」	
	農業経験の浅い者が、各自の栽培現場で役立つ栽培技術を習得する「農業即応技術研修」	
	耕作放棄地解消のための実践的技術習得の場の提供	
	〔就農希望者向け〕	
	非農家出身者の自立就農に向けた「予科」「本科」「専科」など段階に即した研修	予科：25人 本科：8人 専科：3人
	新実践的な農業実習（模擬経営）を行う「専科」の2年化及び定員拡大	
	新奥能登での自立就農促進に向けた「のとりまわり」コースの新設	
	〔農業の応援団向け〕	
	農作業体験や講義を通じて、一般県民の農業理解を促進する「農業学ぼうコース」	3日間：195人 8日間：29人
	駅前周辺や県庁を会場に、講義、実験を通じて農業や食について理解を深める「駅前アカデミー」「開放セミナー」	開放セミナー：223人 駅前アカデミー：43人
	農家民宿の料理担当者等が、郷土料理を都市生活者のニーズにあった「もてなし料理」にブラッシュアップし、地元食材を利用した料理の充実と質の向上を図る「農家民宿料理魅力アップコース」	50人
	(2) コーディネーターが、就農相談から就農まで、農地探しや地域との調整等一貫してサポート	
	(3) チューター（個人指導者）が、営農定着まで相談役として協力。移住就農者には、就農生活アドバイザーが、就農希望者と集落とのマッチング、定着を支援	
	(4) 県外居住者のU I Jターンと就農、定住を推進するための「農業農村生活体験研修」の実施	
	(5) 学生や会社員等が、休日等を利用し参加できる「農業法人見学会」「農業体験短期研修」の実施	
	(6) 新規就農者の育成支援 ・青年就農促進事業（準備型） 新規就農前の準備期間（研修期間）の所得を確保するための給付金による支援	
	(7) いしかわ農業参入支援ファンド 中山間地域や世界農業遺産認定地域において、農業参入や規模拡大により耕作放棄地の解消等を図る参入企業・農業法人等に対し、ファンド運用益を活用した営農開始段階での初期費用の一部を支援	11社

### 公益目的事業3

#### 農業経営の発展、安定化を支援する事業

99,720千円

(1) 認定農業者等の経営安定及び強化への支援

--

認定農業者、集落営農組織の育成と経営発展に向けた経営相談・診断活動	
農業経営指導者の資質向上に向けた研修会の開催	
担い手への農地集積に向けた農地の利用調整への支援	
(2) 第三者の受入による園芸産地の継承について学ぶ園芸産地等経営継承研修の開催	
(3) 将来のいしかわ農業を担う次世代農業人が交流する「次世代農業人交流会」の開催	
(4) 県内の企業と連携した収益力向上に向けた農業用機器の改良	
(5) 薊コマツと連携した耕起から播種までを1台でこなせる多機能ブルドーザーを活用した水稻直播による低コスト技術の大規模実証	
(6) コマツ、東レと連携した地下水など自然エネルギーを利用した冷暖房技術、新たな遮熱資材や環境制御技術等を活用した高収益型施設園芸モデルの実証	
(7) 薊トヨタのノウハウを活用した農業法人における生産工程効率化モデルの実証対象の拡大	
(8) 薊コマツと連携したホイールローダを活用した低コスト畑作モデルの実証	
(9) 薊産学官連携によるスマートフォンを活用したルビーロマン熟練栽培技術習得システムの実証	
(10) いしかわ農業振興協議会、農業法人協会、農業青年グループ連絡協議会、女性農業者グループ等の運営支援	
(11) 収入減少影響緩和対策積立金 担い手の経営全体に着目して、対象農産物の価格下落等による収入の減少の影響を緩和するため、収入減少の9割を補てんする対策における農業者の積立金を管理	

#### 公益目的事業 4

##### 農産物の生産、流通及び加工を支援する事業

42,048千円

(1) いしかわ百万石マルシェや地産地消受注懇談会等への参画支援と I S I C O 等と連携した商工業者とのマッチング活動の強化	マルシェ：2回 受注懇談会：2回
(2) アンテナショップを拠点とした首都圏での旬の食材 P R イベント等の開催	15回
(3) 大手百貨店のバイヤー等からの提案に基づく農産物の商品化や県産食材フェアによる販路開拓の支援	
(4) 薊シンガポール商談会における百万石マルシェの開催を通じた食材提案や現地レストラン・輸入業者等とのマッチン	

グなど本県の実情に応じた県産農産物の海外需要・販路開拓の支援	
(5) 能登の食材出荷の拡大をはかるための生産者のネットワークづくりや消費者との交流イベントの開催	
(6) 農商工連携等による商品開発や販路拡大に向けた取り組みへの支援	
(7) 6次産業化に取り組む農林漁業者に対する6次産業化プランナーなどによる一貫した取り組みの支援	

## 公益目的事業5

### 環境への配慮や農村資源の保全・活用、担い手への農地集積を支援する事業

125,808千円

(1) 耕作放棄地の解消に向けた関係者等の調整・マッチングの実施	
(2) 集落等調査による受入農家、空き農地等経営資源の掘り起こし	
(3) 農地中間管理事業 県の指定を受け、農地中間管理機構がリース機関（農地バンク）として介在し、農地集積・集約化、農業参入の促進、耕作放棄地の解消・発生防止等を図ることで、地域の中心的な担い手への農地集積を推進	借受面積：1,600ha 転貸面積：1,440ha 管理面積：160ha
(4) いしかわ里山振興ファンド 「元氣な里山里海づくり」を推進するため、ファンド運用益を活用し、里山里海の資源を活用した生業（なりわい）創出、スローツーリズムの先行地域におけるモデル的な取組、多様な主体の参画による里山保全活動の推進等を支援	

収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:千円)

科目	平成29年度当初予算							法人会計	合計	H29当初 予算	増減
	公益目的事業会計										
	公1	公2	公3	公4	公5	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	4,026	4,026	3,226	800
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	4,026	4,026	3,226	800
特定資産運用益	0	92,680	0	0	75,808	0	168,488	38,592	207,080	236,000	△ 28,920
特定資産受取利息	0	92,680	0	0	75,808	0	168,488	38,592	207,080	236,000	△ 28,920
受取補助金等	9,800	81,497	99,720	42,048	50,000	0	283,065	21,446	304,511	282,884	21,627
受取国補助金	0	0	7,899	0	0	0	7,899	0	7,899	0	7,899
受取県補助金	7,800	70,597	62,351	39,890	50,000	0	230,636	21,446	252,084	252,779	△ 695
受取JA補助金	0	0	800	0	0	0	800	0	800	800	0
受入その他補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取受託金	2,000	10,900	27,270	2,158	0	0	42,328	0	42,328	27,905	14,423
受取JA助成金	0	0	1,400	0	0	0	1,400	0	1,400	1,400	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	9,800	174,177	99,720	42,048	125,808	0	451,553	64,064	515,617	522,110	△ 6,493
(2) 経常費用											
事業費	9,800	174,177	99,720	42,048	125,808	0	451,553		451,553	441,594	9,959
役員報酬	1,236	2,475	1,236	1,236	1,236		7,419		7,419	6,515	904
給料手当	0	6,276	220	0	0		6,496		6,496	7,150	△ 654
臨時雇賃金	0	1,746	0	2,564	4,200		8,510		8,510	8,763	△ 253
福利厚生費	184	1,077	184	184	1,150		2,779		2,779	2,895	△ 116
旅費交通費	1,027	2,618	5,998	5,965	2,520		18,128		18,128	16,765	1,363
通信運搬費	821	642	668	1,156	506		3,813		3,813	3,932	△ 119
消耗品費	1,540	2,432	3,754	1,696	2,528		11,950		11,950	11,538	412
修繕費	0	103	0	0	0		103		103	115	△ 12
印刷製本費	616	565	3,488	3,384	3,675		11,728		11,728	10,952	776
燃料費	0	26	227	0	0		253		253	184	69
賃借料	2,051	3,901	3,205	3,824	1,250		14,231		14,231	14,317	△ 86
保険料	0	257	227	14	0		498		498	455	43
謝礼金	1,000	2,824	6,910	2,908	0		13,642		13,642	12,050	1,592
租税公課	21	0	6	3	500		530		530	541	△ 11
支払負担金	256	1,309	35,500	1,426	0		38,491		38,491	51,784	△ 13,273
支払助成金	0	135,224	7,559	1,000	74,000		217,783		217,783	240,002	△ 22,219
委託費	1,027	12,555	30,227	16,415	34,243		94,467		94,467	52,998	41,469
会議費	21	134	285	144	0		584		584	513	71
雑費	0	13	6	129	0		148		148	145	3
管理費								64,064	64,064	80,516	△ 16,452
役員報酬								4,026	4,026	3,966	60
給料手当								2,760	2,760	2,700	60
福利厚生費								450	450	445	5
旅費交通費								216	216	76	140
通信運搬費								256	256	86	170
消耗品費								353	353	103	250
光熱水料費								3,129	3,129	2,543	586
賃借料								13,574	13,574	13,574	0
租税公課								608	608	568	40
支払利息								38,592	38,592	56,384	△ 17,792
雑費								100	100	71	29
経常費用計	9,800	174,177	99,720	42,048	125,808	0	451,553	64,064	515,617	522,110	△ 6,493
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部											
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	—	—	239,655	239,655	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	239,655	239,655	0
II 指定正味財産増減の部											
一般正味財産への振替額	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	—	—	501,039	501,039	0
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	0	0	0	501,039	501,039	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	740,694	740,694	0